


1. 岐阜市地域公共交通再編実施計画

- JR岐阜駅のハブ機能強化を念頭において長大路線を分割、利用実態にあわせてサービス水準を変更
- 安定した高いサービスを提供する幹線と地域需要に応じた支線との役割分担
- 市民が主体的に参画するコミュニティバスを導入し、地域需要に応じて生活移動の足の確保

【主な事業内容】

項目	事業の効果
JR岐阜駅をハブターミナルとしたバス路線の再編【平成27年10月1日実施】	
 茜部三田洞線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時性・速達性の向上 最大約5分の遅延改善 ・ 一定の収支改善による持続性の向上
日野市橋線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時性・速達性の向上 最大約6分の遅延改善 ・ 一定の収支改善による持続性の向上
JR岐阜駅を中心としたループ化への再編【平成27年10月1日実施】	
鏡島市橋線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要が見込まれるルートへの再編 ・ 一定の収支改善による持続性の向上
日野市橋線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時性・速達性の向上 ・ 一定の収支改善による持続性の向上
市民協働型のコミュニティバスの導入推進（2地区に追加）【平成27年9月1日実施】	
日野地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスとのネットワーク化によるバスの利用促進 ・ 地域の活性化
北長森地区	

○さらに、将来的に本計画を変更し、平成32年度までに、新たな都心拠点となる行政施設の建設にあわせて、「トランジットセンター」（乗継拠点）の整備、BRTの導入も含めた中心部の幹線バス路線の再編等を行うこととしている。

これらの事業により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築

